

1 単元（題材） 楽しかった修学旅行

2 教科の目標

修学旅行を振り返り、感じたことや思ったことを保護者に伝える。

3 活用したICT

デジタルカメラ プロジェクタ 50型テレビ

4 活用したICTの特性

- ・ 修学旅行で見学したり、体験したりしたことなど時間的や距離的にも隔たりのあるものでも映像として記録保存することで、保護者に伝えることができる。（デジタルカメラ）
- ・ 異なる視点から映像として記録保存することができるため、自分の発表の様子を自分で確認することができる。（デジタルカメラの動画機能）
- ・ 拡大提示し、皆で映像を共有することができる。（プロジェクタ、50型テレビ）

5 実践の様子

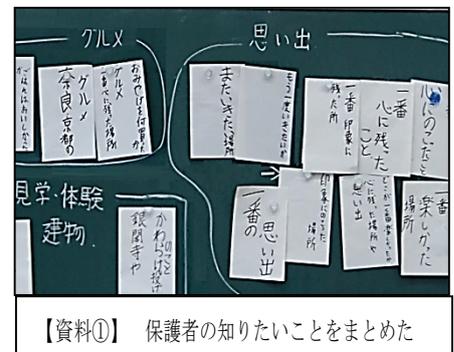
- ① 保護者の知りたいことを調べ、まとめ方について考えた。
- ② 考えたことに基づき、修学旅行で撮影した写真や、しおりに記録したことを、スライドを作成した。

ア 保護者の知りたいことをまとめた「グルメ、見学・体験した建物、言葉、思い出」というキーワードに沿って、何について発表するかグループで決めた。【資料①】

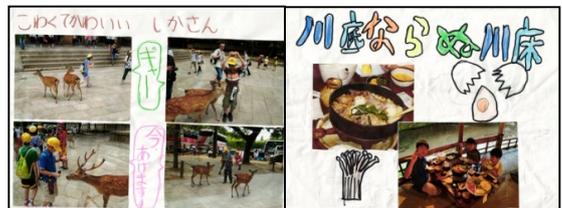
イ 修学旅行で撮影した写真の中から、写真を選んだ。

ウ 写真の大きさ、枚数、形などを工夫したり、文字を書き込んだりして、思い出を効果的に伝えられるようにスライドを作成した。【資料②】

エ 思い出が伝えられるように、発表の練習に取り組んだ。デジタルカメラの動画機能を使ってお互いの様子を撮影し、アドバイスを送り合うようにした。



【資料①】 保護者の知りたいことをまとめた



【資料②】 作成されたスライド

- ③ 修学旅行の思い出が伝わるように、プロジェクタや50型テレビを使って発表した。最後に、保護者から発表に対しての評価をもらった。

6 成果と課題

- デジタルカメラの映像で自分が発表している様子を見直すことで、具体的なアドバイスを送り合うことができ、発表を改善することができた。また、改善したところを確認できることで、意欲的に練習に取り組むことができた。
- プロジェクタや50型テレビを用いて拡大したり焦点化したりして発表をすることで、伝えたいところを明示することができ、伝えたい思いを強調して、発表をすることができた。
- 修学旅行で見学したことや体験したことを記録するためにデジタルカメラをもたせたが、記録をとることに気をとられてしまうことがあった。見学や体験を妨げないような記録の仕方を工夫する必要があった。